

# 会 議 録

## 1 会議名

令和7年度第3回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議

## 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 令和8年度事業計画・予算案について（公開）

(2) 社会教育委員による事業評価について（公開）

(3) その他（公開）

## 3 開催日時

令和8年2月19日（木） 午前10時00分～11時00分

## 4 開催場所

上越市教育プラザ3階 大会議室

※オンライン会議と同時開催（会場参加とオンライン参加により実施）

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員

### 【会場参加】

茨木委員、江村委員、大山委員、亀山委員、佐野委員、高橋委員

松井委員、村本委員、森田委員、山川委員、山崎委員、渡邊委員

### 【オンライン参加】

北澤委員

・ 事務局

福山社会教育課長、宮崎参事、加藤参事、長谷川中央公民館長、北澤係長

町田係長、池田係長、山田副主幹、増田主任、岩片主任

## 8 発言の内容（要旨）

(1) 開会

(2) 渡邊委員長挨拶

(3) 議事

① 令和 8 年度事業計画・予算案について

— 資料No.1～3 に基づき事務局説明 —

**【茨木委員】**

各施設の予算の維持管理費について、以前はオーレンプラザの管理費も記載されていたが、今回の資料には見当たらない。令和 8 年度はどのような計画になっているのか。

**【事務局】**

令和 8 年度はこどもセンター屋根部分の改修工事を予定しており、前年度から予算を増額している。それ以外は例年どおりである。後ほど資料を追加配布する。

**【森田委員】**

二十歳を祝うつどいについて、市長交代に伴う、内容の見直しや変更はあるか。

**【事務局】**

市長に事業説明する中で、今後変更の可能性はあるが、現在のところ令和 8 年度は今年度と同様の内容を予定している。

**【森田委員】**

市長のカラーを出し、例年と同様ではなく変化があるとよい。ラジオ局のパーソナリティを総合司会に起用することや、上越科学館や上越市立水族博物館の入場券を配布するなどできないか。

**【事務局】**

実行委員会が企画している第二部において、令和 8 年度も抽選会を予定している。例年、科学館や水族博物館の入場券も景品としている。今後も参加者に喜んでもらえる企画となるよう実行委員会で検討していく。

**【高橋委員】**

人権を考える講話会について、講師は市から派遣されるが、会場設定や参加者への周知等はすべて学校が担っている。当校では会場の収容人数の関係から近隣の公民館での開催を検討している。限られた予算の中で厳しい面もあると思うが、学校に会場費等の支払いがあれば、より積極的な集客につながるのではないか。

#### 【事務局】

会場は必ずしも学校である必要はないが、学校行事に合わせて実施することが多いため、学校開催が多くなっている。会場費等については予算計上していないが、今後可能な対応があれば検討していきたい。

#### 【高橋委員】

地域学校協働本部について、先日イオンで広報紙「つなぐ」の展示があり観覧し、活動が浸透してきていると感じた。今後は質の向上を目指してもよいのではないか。地域により活動は様々だが、課題を抱える地域コーディネーターへの社会教育課としての支援内容とその成果を伺いたい。

#### 【事務局】

広報紙「つなぐ」第20号の発行を記念し、先日イオンにて歴代の広報紙の展示を行った。今年度は「広報」をテーマに広報活動に力を入れ、外部講師による広報紙作成の講習を実施したほか、実践事例発表会においても広報活動に関する事例発表や意見交換を行った。意見交換や情報共有の場を設けることで、コーディネーター同士が活動状況や課題を共有している。事務局としても必要な支援を検討しながら取り組んでいる。

#### 【渡邊委員長】

社会同和教育活動事業について、例年どおり事業を実施するとの説明があったが、予算が今年度の倍以上になっている理由は何故か。

#### 【事務局】

令和7年度までは、社会教育指導員設置費として、同和教育担当2名と謙信KIDSプロジェクト担当2名の計4名の指導員人件費を計上していた。令和8年度からは、それぞれの事業に人件費を組み込むこととし、同和教育担当指導員の人件費を社会同和教育活動事業に、謙信KIDSプロジェクト担当指導員の人件費を青少年教育活動事業に計上したため増額となっている。

#### ② 社会教育委員による事業評価について (質疑なし)

— 資料No.4 に基づき事務局説明 —

③その他（「上越科学館子どもたちの学びの場充実事業」で整備した新規展示物の公開について）

— 資料No.5 に基づき事務局説明 — （質疑なし）

(4) その他

【森田委員】

社会同和教育活動事業について、さまざまな講義を受ける機会があるものの、受け身の講義が多い。受講者がより理解を深められるよう、次は教える側に回るなど、人材を育成する仕組みを構築できないか。

【事務局】

社会同和教育については、受け身の受講になることが多い。教える側に回る仕組みについては、誤った認識が広がる懸念もあるため、理解向上につながる方法を検討していきたい。

【大山委員】

上越市の最重要課題は、人口減少問題であると思う。予算は単年度で計画されているが、10年先、20年先を見据えた社会教育の方向性を議論する必要がある。予算決定後の説明では変更が難しいため、日頃から今後の方向性を議論できる場があるとよい。

【江村委員】

二十歳を祝うつどいの際に、進学等で市外に出ても、将来戻ってきてもらえるよう、魅力ある働く場所が上越市にもあることを発信してほしい。実行委員会が企画した内容とは別に、上越へのUターンを促す取組があるとよい。

(5) 閉会

9 問合せ先

上越市教育委員会社会教育課

TEL : 025-545-9245（内線 2741）

E-mail : shakaikyoku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。